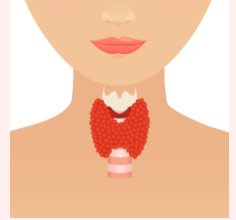




女性特有の健康課題 ～「甲状腺の病気」について～

1. 甲状腺の位置と甲状腺ホルモン

甲状腺はのど仏の下にあり、蝶のような形をした小さな臓器です。そこで分泌される**甲状腺ホルモン**は、**発育や心臓の機能調整など、生命を維持するために重要な働きをするホルモン**です。



健康であるためにはこのホルモンのバランスを良好に保つことが大切で、**異常があると、自分自身の健康だけでなく胎児の発育不良や流産、早産などのリスクも上がります。**

2. 20～30代に多いバセドウ病（甲状腺機能亢進症）

甲状腺で甲状腺ホルモンが過剰に分泌される病気です。新陳代謝が活発になりすぎて、体温の上昇、体重の減少、脈拍数の増加、動悸・息切れ、手の震え、落ち着かない、情緒不安定、などの症状が現れます。甲状腺が腫れ、眼球突出などが起こることもあります。この病気は20～30代の女性に多く、絶えず運動をしているような状態になるため、心臓をはじめ様々な臓器に負担がかかります。

症状が更年期障害の症状と似ているため、「ちょっと若いけど、更年期の不調かな？」とは思わずに、内科で診察を受けることをお勧めします。

3. 更年期以降の世代に多い橋本病（甲状腺機能低下症）

甲状腺に慢性的に炎症が起こる病気です。甲状腺の機能が低下することで、体温の低下、冷え、コレステロール値の上昇、月経不順、肌の乾燥やむくみ、脈拍数の減少、便秘、無気力感などの症状が現れます。

この病気は中高年の女性に多く、更年期症状や自律神経失調症の症状ともよく似ているため見逃されがちです。

バセドウ病や橋本病など、甲状腺の病気は女性にとっても多く、月経異常や不妊、流産の原因になることもあります。異常を感じた時は内分泌科など甲状腺を専門的に診られる診療科を受診しましょう。